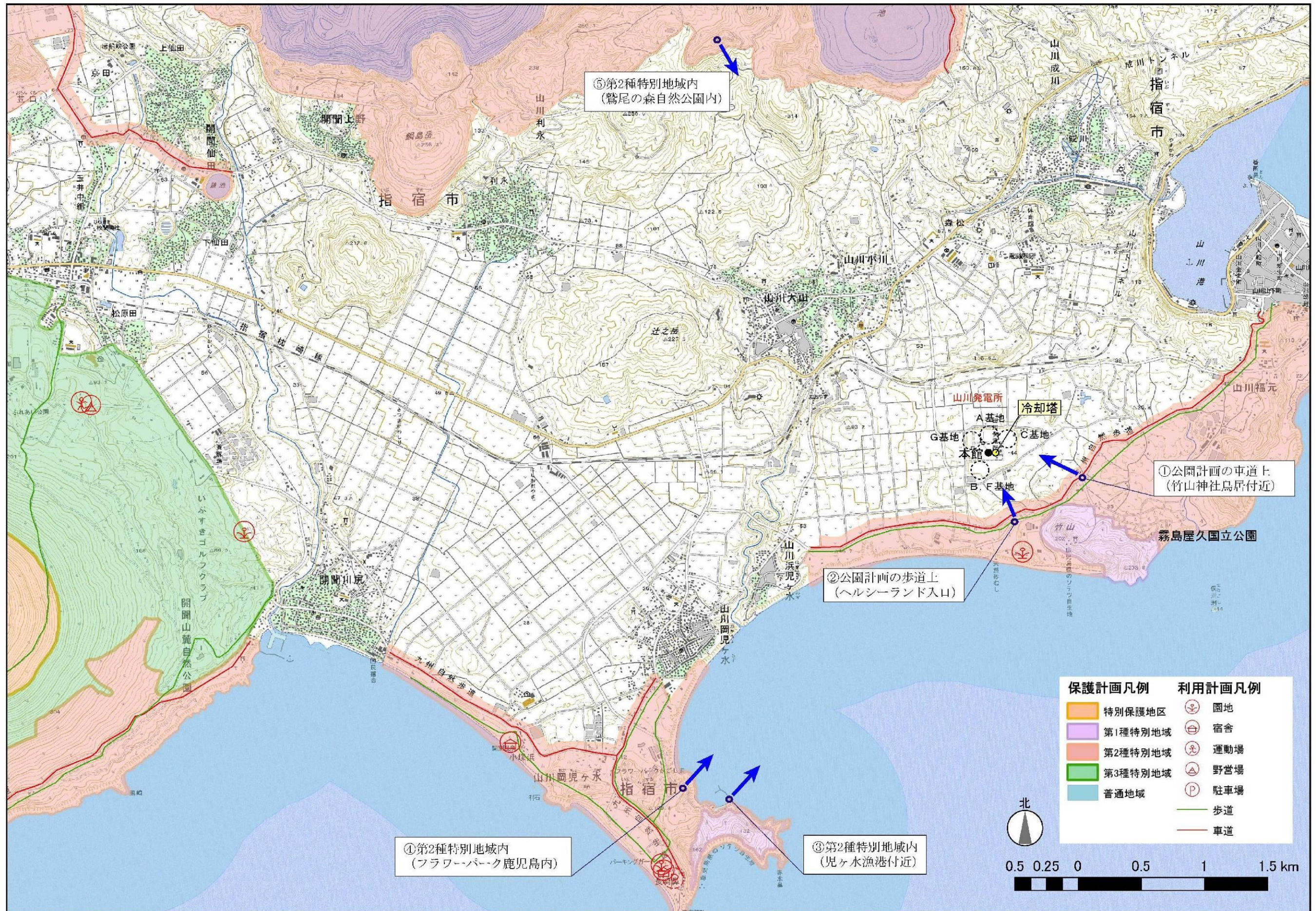


図3. 山川発電所・景観補足調査地点




## <調査方法>

調査地点において、発電所方向の眺望を人間の視野に近い\*35mm フィルム換算焦点距離28mm のデジタルカメラで撮影した（オリンパス社製「CAMEDIA SP-550UZ」）。また、周囲の利用状況についても、あわせて現地で確認を行なった。

\*：人間が特定の対象を否検索的に眺める場合（例：展望台から景色を眺める場合）の視野は既往の研究の結果によって、「60° コーン説」が定説となっている。なお、35mm フィルム、28～35mm レンズを用いて撮影した写真がこの視野に近い。

出典：環境アセスメント技術ガイド 自然とのふれあい 財団法人 自然環境研究センター（平成14年）

1. 澄川・大沼地熱発電所

地点番号：①	集団施設地区内（大沼自然研究路沿い）
地種区分	第2種特別地域
利用計画	集団施設地区
<div data-bbox="352 405 459 465" data-label="Caption"> <p>現況</p> </div> 	
<div data-bbox="352 1126 459 1187" data-label="Caption"> <p>解説</p> </div> 	
利用状況	付近にはホテル等の宿泊施設が点在し、ビジターセンターも近いため散策利用者が多い。撮影当日も早朝から散策利用者が確認された。
眺望の状況	大沼地熱発電所の施設や蒸気は眺望されなかったが、送電鉄塔が眺望された。
備考	紅葉時期に写真撮影に訪れる観光客から、写真の構図に鉄塔が入るとの声があり、地元観光施設での評判が良くない。